

デザイン目線で旅するガイドブック『d design travel 香川』10月4日全国発売

東京・渋谷ヒカリエと香川県内で、見て・買って・食べて・笑って… "香川らしさ" を体験できる企画が盛りだくさん!

D&DEPARTMENT PROJECT (商号:ディアンドデパートメント株式会社)が制作する、「ロングライフデザイン(その土地に長く続く個性)」を編集テーマに据えた、47都道府県の観光を、1県につき1冊ずつ特集する、観光ガイドブックシリーズ『d design travel(ディ デザイントラベル)』の26冊目となる「香川号」が、2019年10月4日(金)全国発売となります。発売に際し、展覧会や編集部によるトークショー、香川の食を味わう企画や落語会など、本誌を立体的に楽しめる連動企画を、東京の渋谷ヒカリエと香川県内で開催。ガイドブックを軸に、様々な体験を通して、香川県の個性を伝えていきます。



『d design travel 香川』のつくり方、たのしみ方

1. 地元住民や、旅・デザイン好きの一般参加型による編集スタイル

今年5月、公募で集まった約60名で「香川らしさ」をディスカッション。取材候補地を挙げる公開編集会議で制作をキックオフしました。SNSで制作過程をシェアしながら、県内外からリアルタイムで情報を寄せていただきました。

2. 「まずは、いち旅人として体験する」覆面取材

7月までの約2ヶ月間、編集部は現地に住み込み、300箇所以上を巡り、「これぞ香川!」と感動したものだけを選定。選定後に初めて取材申し込みを行ないました。

3. “体験してこそ”の香川号

東京・渋谷ヒカリエ「d47」と香川県内で、トークショーやスタンプラリー、落語会など、本誌だけに留まらない様々な企画を展開します。



旅が繋ぎ、アートする香川。

台風や雨雲は山々に遮られ、天災の少ない香川県。讃岐・瀬戸内という恵まれた暮らしは、一方で自らが生命線だった。アートやデザイン、うどんやお遍路——今は、「路」が町と町、島と島を結び、「旅」が人と人を繋いでいる。それが自ずと香川という小さくても偉大で、美しさに溢れた県を形づくっていた。

『d design travel』編集長 神藤秀人

『d design travel 香川』概要

- 定価 1,900円+税 / ●出版元 D&DEPARTMENT PROJECT
- 発売日 2019年10月4日(金) ※9月6日(金)よりd47及びD&DEPARTMENT各店ほかにて順次先行発売予定
- 様式 B5変形判、192ページ、フルカラー、日英併記
- 販売場所 全国の書店・ライフスタイルショップ・ミュージアムショップ・Amazon・D&DEPARTMENT各店
- 表紙 『創造の広場』猪熊弦一郎(1902年-1993年)

『d design travel』は、2009年創刊。これまでに、北海道、岩手、富山、京都など25都道府県を発刊している。毎号、地域住民との公開編集会議を皮切りに、約2ヶ月間の現地取材を行う。各号の取材と、東京と特集県内で連動するイベントを通して、47都道府県の独自の個性を改めて整理し、発信することで、主要都市だけでなく、日本各地にあるその土地らしいクリエイションを見つめ直し、その価値を継承する意識を持つきっかけを与える、これまでのトラベルガイドには無い機能をもつ書籍として展開している。

本件の画像は以下 URL よりダウンロード可能です。ご使用の際はご一報ください。 <https://bit.ly/2OXsayC>

- 本件に関するお問い合わせ - D&DEPARTMENT PROJECT 広報 清水睦
tel:03-6427-2301 fax:03-3797-1721 email:pr@department.jp

● d design travel 編集、7つの考え方

1. 必ず自費でまず利用すること。実際に泊まり、食事し、買って、確かめること。
2. 感動しないものは取り上げないこと。本音で、自分の言葉で書くこと。
3. 問題があっても、素晴らしければ、問題を指摘しながら薦めること。
4. 取材相手の原稿チェックは、事実確認だけにとどめること。
5. ロングライフデザインの視点で、長く続くものだけを取り上げること。
6. 写真撮影は特殊レンズを使って誇張しない。ありのままを撮ること。
7. 取り上げた場所や人とは、発刊後も継続的に交流を持つこと。



※中ページイメージ（愛知号）

● 取材対象選定、5つの考え方

1. その土地らしいこと。
2. その土地の大切なメッセージを伝えていること。
3. その土地の人がやっていること。
4. 価格が手頃であること。
5. デザインの工夫があること。

● 香川号の主な内容：d マークレビュー

『d design travel』最大の見どころ。観光、レストラン、買い物、カフェ、宿、人、の6つのカテゴリーごとに最大4箇所ずつ厳選し、その土地を代表する、ロングライフなスポットや取り組みを掲載しています。



SIGHTS
観光

その土地らしさを感じる観光スポットで、メッセージ性があり、長く続いている場所。

- ・丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（丸亀市）
- ・四国村（高松市）
- ・イサム・ノグチ庭園美術館（高松市）
- ・仏生山温泉（高松市）



CAFES
カフェ

伝えたいメッセージを持つオーナーによる、その土地らしいカフェやバー。

- ・城の眼（高松市）
- ・掬月亭（高松市）
- ・神椿（仲多度郡）
- ・東山魁夷せとうち美術館（高知市）



RESTAURANTS
レストラン

地域の食材を使い、地元の人がやっていて、美味しいだけでなく、デザインを感じる食事処。

- ・まいまい亭（高松市）
- ・うどん本陣 山田家 讃岐本店（高松市）
- ・海のレストラン（小豆郡）
- ・すする（高松市）



HOTELS
宿

その土地らしさを体感できる建築やサービスによる宿泊施設で、価格も適正であるホテルや旅館。

- ・UDON HOUSE（三豊市）
- ・島宿真里（小豆郡）
- ・ベネッセハウス（香川郡）
- ・ウミトタ（小豆郡）



SHOPS
買い物

地域の特性を活かしたお土産を購入できる店。

- ・ジョージ ナカシマ記念館（高松市）
- ・かめびし屋（東かがわ市）
- ・三谷製糖 羽根さぬき本舗（東かがわ市）
- ・ダイコープロダクト（さぬき市）



PEOPLE
人

地域のキーパーソンで、文化創造や地域活性に繋がる活動を積極的に行っている人物。

- ・真鍋康正（ことでんグループ）
- ・山下公一（やまくに）
- ・山本康夫（ヤマロク醤油）
- ・西谷美紀（灸まん美術館）

● 特集

- ・奇跡のような“島々”～ベネッセアートサイト直島～／香川県が“アート県”と謳われる背景には、瀬戸内国際芸術祭よりも前に「ベネッセアートサイト直島」の活動がありました。デザイン視点で見た、アートとは何か？
- ・香川県のファッションは今～愛の逃避行から始まった手袋産業～／国内シェア9割を超える手袋産地香川県。ファッション用からスポーツや消防、さらに宇宙飛行士用まで。僧侶の“愛の逃避行”(?)から始まった、香川の手袋産業の今を紹介。
- ・香川県の食文化を知ろう～讃岐うどん～／言わずと知れた香川の郷土食。薦められるがままに食べたうどんは100玉以上。それでも県民は年間平均188玉食べるというから自慢にもならない。もはや香川県ならではの文化である「讃岐うどん」を編集部が綴る。編集部のお薦めうどん店マップも収録。

● 連載

- ・深澤直人（プロダクトデザイナー）／デザイナーのゆっくりをききたい「いつものふつう」
- ・坂本大三郎（山伏）／47都道府県にあるロングライフな祭り 香川県「祖先を迎える『負い縄素麺』」
- ・高木崇雄（工藝風向 店主）／47都道府県の“民藝” 香川県「骨組み」

その他、編集部が見つけたその土地では当たり前となっている独特な習慣を紹介する「香川のふつう」や、「香川定食」開発から感じた県独自の食文化、滞在取材を経て見聞きし体験したその土地らしさを綴る「編集部日記」など、掲載地はおおよそ70箇所。さまざまな切り口から“香川らしさ”を伝えます。

● 連動企画

1. 本誌を立体的に表現する展覧会「d design travel KAGAWA EXHIBITION」

掲載地で実際に使用されている仕事道具や備品、装飾品などを展示し、現地の魅力を再現する展覧会です。

詳細はプレスリリース最終頁をご覧ください。

2. 郷土の味をぎゅっと詰め込んだオリジナルメニュー「香川定食」が登場

d47食堂の料理人が香川県を旅して、名物や伝統料理を食べ歩き、生産者に取材して開発した定食が、期間限定で登場。

いりこの出汁の讃岐うどん、ひゃっかの雪花、しょうゆ豆、おでんの天ぷらなどの料理が並びます。

提供期間：9月4日(水)-12月10日(火) 予定 ※9/10・11休業、11:30-23:00(14:30-18:00のカフェタイムを除く、21:30 L.O.)

値段：1,620円+税 / 場所：d47食堂（渋谷ヒカリエ8F） / 電話：03-6427-2303

3. 香川号の制作トークと香川の食を一度に楽しめるパーティー

編集部が本誌と連動企画にまつわる制作裏話を、取材時に撮りためた写真などを見せながら語りつくすトークショーと

香川ならではの食やお酒などと共に参加者全員で楽しむ交流会を開催します。詳細はwebで公開しています。

東京開催 日時：9月12日(木) 19:00-22:00 / 場所：COURTおよびd47食堂にて（渋谷ヒカリエ8F）

4. 編集部の足取りをたどる「d編集部の香川ぐるぐる」

本誌掲載の「dマーク」各地に香川号を持参すると、オリジナルスタンプが押せるスタンプラリーです。

期間：9月14日(土)-12月2日(月)

5. 香川県をテーマにした創作ご当地落語を披露「d47落語会 香川県」

落語家・柳家花緑が、脚本家・藤井青銅書き下ろしの新作となる香川落語を、洋服で椅子に座り現代の言葉で演じる「同時代落語」のスタイルで披露します。『d design travel』発行人のナガオカケンメイを聞き手に、2人が香川落語の誕生秘話を語るアフタートークと合わせて、香川の魅力を笑いを通して感じられる企画です。

演目：古典落語1席、香川落語1席、アフタートーク

・東京会場 日時：9月26日(木)、27日(金) 20:00-22:00 / 場所：COURT（渋谷ヒカリエ8F）

・香川会場 日時：10月1日(火) 19:00-21:00 / 場所：香川県文化会館（香川県高松市番町1丁目10-39）

料金：前売り¥3,000、当日¥3,500（税込） / 予約：web、店頭、香川会場のみ電話予約も可能（d47:03-6427-2301）

詳細：https://www.d-department.com/item/D47_RAKUGO.html / 問合せ：03-6427-2301（d47）

6. 香川号発売記念トークイベントの県内開催が決定

編集長と香川号取材先の方が登壇。編集部と取材先、両方の視点から香川の魅力を紐解きます。同日夜には出版パーティーも開催予定。詳細はwebで公開していきます。

日時：9月29日（日）午後開催 / 場所：TSUTAYA 宇田津店（香川県綾歌郡宇多津町浜3-21-2）

● 『d design travel』バックナンバー

'09年 vol.1 北海道	'13年 vol.11 富山	'17年 vol.21 埼玉
'10年 vol.2 鹿児島	'14年 vol.12 佐賀	vol.8.2東京
vol.3 大阪	vol.13 福岡	vol.5.2静岡
vol.4 長野	vol.14 山形	vol.22 群馬
'11年 vol.5 静岡	'15年 vol.15 大分	'18年 vol.23 千葉
vol.6 栃木	vol.16 京都	vol.2.2 鹿児島
'12年 vol.7 山梨	vol.17 滋賀	vol.24 岩手
vol.8 東京	'16年 vol.18 岐阜	'19年 vol.25 高知
'13年 vol.9 山口	'16年 vol.19 愛知	
vol.10 沖縄	vol.20 奈良	



● D&DEPARTMENT PROJECT（ディアンドデパートメントプロジェクト）とは

2000年にデザイナーのナガオカケンメイによって創設された「ロングライフデザイン」をテーマとするストアスタイルの活動体。現在は国内外に10店舗（北海道、埼玉、東京、富山、山梨、京都、鹿児島、沖縄、韓国ソウル、中国黄山）を展開。将来的には47都道府県に1か所ずつつくり、全国的な規模で「息の長いその土地らしいデザイン」の発掘と紹介をしていく。2009年『d design travel』創刊、2012年に渋谷ヒカリエ8階に47都道府県の魅力を展示する日本初のデザイン物産ミュージアム「d47 MUSEUM」をオープン。併設の「d47 design travel store」「d47食堂」と連動し、立体的に日本を伝える新しいスタイルを創造。2020年春にはD&DEPARTMENT初のホテル機能をもつ拠点を韓国チェジュに開業予定。

香川県の個性を「デザイン」と「旅」の視点から見る展覧会 9/6(金)-12/2(月)開催!



名称 d design travel KAGAWA EXHIBITION
 会期 2019年9月6日(金)～12月2日(月) 11時～20時 入館は19時30分まで ※9/10、11のみ休館
 会場 d47 MUSEUM (ディ ヨンナナ ミュージアム) 東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ8階
 入場料 無料 / 主催 D&DEPARTMENT PROJECT
 電話 03-6427-2301 (d47 MUSEUM) / URL www.d47museum.com

d47 MUSEUMでは、9月6日から12月2日まで「d design travel KAGAWA EXHIBITION」を開催します。デザイン目線で日本各地の長く続くその土地らしい個性を案内するトラベルガイドブック『d design travel 香川』の10月4日(金)の全国発売を記念し、誌面だけでは取まりきれない現地の魅力を立体的に伝えていきます。

編集部が徹底取材した、“その土地らしさ”を、現地で実際に使用されている仕事道具や備品、装飾品などを展示し、再現します。例えば、「丸亀市猪熊弦一郎現代美術館」の収蔵作品(レプリカ)や、「うどん本陣 山田家」の暖簾やうどん食器、「ジョージ ナカシマ記念館」のコノイドチェア(栗材)、「ダイコープロダクト」からは工場で使用される手袋の型やミシンの道具などを展示予定です。誌面から飛び出したような数々の展示品の独自のデザインから、本誌編集部が、歩き、見聞きし、食べた“香川の今”を感じ取って、その魅力を再発見し、実際に香川県を旅したくなるきっかけをつくります。

会場では全国発売に先駆け、香川号を先行販売します。先着で、編集長が手書きで作成した『らくがきMAP』をプレゼント。本誌には載りきらなかった情報などもお見逃しなく。また、編集部おすすめの香川の手土産が買える期間限定ストアが登場。木桶仕込みの醤油やオリーブオイル、手延べ素麺、うどんなどの美味しい手みやげから、手袋や木工品などが購入できます。併設のd47食堂の新メニュー「香川定食」も合わせ、本を読み、展示を見て、商品を手にとり、郷土料理を食べ…と、香川の魅力を五感を通して感じられる企画です。

会期中は、9月12日(木)に編集部が取材や展示の舞台裏を語るトークショーと、香川の食が堪能できる交流会がセットになった「d design travel showと香川を食べる会」を開催するほか、渋谷のど真ん中に居ながら香川らしさを体験できる企画を開催予定です。告知や詳細は随時webやSNSで発信していきます。

「d47 MUSEUM」は、2012年4月26日、渋谷ヒカリエ8階に、日本初の“47都道府県デザインミュージアム”としてオープン。建築、デザイン、工芸、食、ファッション、農業、自然環境など、あらゆるジャンルからテーマを選び、オリジナルのキュレーションと編集で、世界に向けて“日本の今”を発信していきます。